

いろいろ経験しているうちに二週間があ、と
 いうまにすぎアホームシツクにかかるひまも
 なか、た、サヨナラパーティーの時
 「これでカナダの人達ともお別れだなあ」と
 思い悲しくな。アエリンが日本の最後の夜泣
 いていた気持がわが、た。
 どうとうエリンの家族とが別れする日が来た
 エリンの両親が泣きながらほくを抱きしめて
 くれた。家族のみんなも泣きながらバスに手
 をふ、てくれた。日本語でエリンはほくに、

「いつまでも友達」と言、てくれた。
 生まれ、初めて初め、外国に来て英語も話な、た
 けれど心は、通じ、ているような気がした。
 大人にな、たら、今度は自分の力で働いて、
 もう一度カナダに行、たいと思、った。
 船橋町に着、いて家族の顔を見たらホッ、トして
 カが抜、けた。五十嵐先生も本当にホッ、トした
 らしく涙をう、か、べ、て、い、ま、した。
 「先生どうもありがとうござ、い、まし、た。」
 エリンともこれで最後にし、ない、て、こ、れ、が、ら

カナダへ行った子どもの作文から (抜すい)